

島根県知事の溝口でございます。一言ご挨拶申し上げます。

本日、全国道路利用者会議の全国大会が、綿貫会長をはじめ、多くの皆様にご島根・松江の地にお出でいただき、このように盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。また、遠路、島根にお越しいただいた皆様を心から歓迎申し上げます。

今年は、3月の東日本大震災をはじめ、相次ぐ台風の上陸により大きな被害となりました。亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災地と被災された皆様の生活が、一日も早く復旧・復興することをお祈りいたします。

さて、全国道路利用者会議におかれましては、昭和24年の発足以来、利用者の立場から道路整備の促進や維持・修繕の充実を訴えられ、数々の成果をあげられてきましたことに敬意を表する次第であります。

言うまでもなく道路は、私たちの日常生活をはじめ、産業活動に欠くことのできない重要な社会資本であります。また、災害時には、避難・支援活動において重要な役割を果たすなど、私たちの安全・安心な生活を支えています。

しかしながら、来年度の国の概算要求では、一般経費について1割の削減が求められており、今後の高速道路や地域交通ネットワークの整備に支障が出るのが懸念されます。

私は、高速道路が十分整備されていないいわゆるミッシングリングを早く解消するように、整備が遅れている山形、福井など9県の知事や、山陰道でつながる鳥取・山口の知事と一緒に、国などに強く求めております。

今後も他県の知事とも連携しながら、国の責任において、早期に全国の高速道路が完成するよう、皆様とともに訴えていく考えであります。

さて、お出でいただきました島根は、「神々の国」であり、「神話の国」、「縁結びの国」であります。

来年平成24年は、「ヤマタノオロチ退治」や「国譲り神話」などの島根を舞台とした神話が多く登場する「古事記」が編纂されてから1300年目を迎えます。また翌25年には、60年に一度の「出雲大社の大遷宮」が執り行われます。

県では、この機会に「島根の魅力」を全国の方々に知っていただくために、「神々の国しまね」のPR事業を進めています。そして、来年7月から11月までは、出雲大社周辺で、神話の博覧会「神話博しまね」を開催いたします。

皆様には、今回あるいは次の機会に、島根の古き良き世界に足を運んでいただければ幸いです。

終わりに、今回の全国大会の成功と道路利用者会議の益々のご発展、お集まりの皆様のご活躍を祈念しまして、ご挨拶といたします。